

一般選抜 C 方式 数学 出題意図

【大問 1】

独立した小問から成るアンサンブル形式で、小問 1 は高等学校数学 II の単元「指数関数・対数関数」、小問 2 は同数学 B の単元「数列」、小問 3 は同「統計的推測」から、各分野の基本事項の理解を測る意図で出題した。

【大問 2】

高等学校数学 I の単元「図形と計量」および数学 II の単元「三角関数」から、三角形の計量問題として出題した。基本公式の運用能力に加えて空間認識能力を測ることを意図している。なお計算には同数学 I の単元「数と式」を前提としている。

【大問 3】

高等学校数学 I の単元「2 次関数」および数学 II の単元「微分と積分」から、グラフの作図能力、やや高度な計算力、判断力を測る意図で出題した。

【大問 4 * (選択)】

小問 1 は高等学校数学 I の単元「集合と論証」から、小問 2 は同数学 A の単元「場合の数と確率」から、論理的思考力、判断力を測る意図で出題した。なお小問 2 は、同数学 B の単元「数列」の理解を前提としている。

【大問 5 * (選択)】

独立した小問から成るアンサンブル形式で、小問 1 は高等学校数学 A の単元「図形の性質」または同数学 C の単元「ベクトル」、小問 2 以降は同数学 III の単元「微分」から、各分野の基本事項の理解を測る意図で出題した。なお小問 2 は、基本公式の証明能力を誘導形式で問う形式になっている。

*大問 4・5 は 1 題を選択し解答する。